

大和川水系石川ブロックの流域の概要

現状と課題

流域の概要

<石川流域>

- 流域面積 222.27km²
- 一級指定区間延長 29.9km
- 石川、飛鳥川、大乗川、梅川、太井川、千早川、水越川、佐備川、宇奈田川、天見川、石見川、加賀田川の12河川からなる水系
- 金剛葛城山系に水源を発生し、中流域の丘陵地を経て、各支川を合流後、大和川へ流下する
- 流域の6割を山地が占め、残りを農地と市街地が2分する
- 石川の左岸側は市街化が進んでいるが、右岸側には農地が広がる
- 上流域には、かんがい用水や水道用水等の確保を目的とした滝畑ダムが存在する

<原川流域>

- 流域面積 6.14km²
- 一級指定区間延長 3.7km
- 奈良県域に水源を発生し、大阪府域では市街地を流下

自然環境

- 山地部の大部分はスギ・ヒノキ等の植生が占めるが、石川上流ではアベマキ・コナラ群集も分布
- 石川中下流では、河川敷の砂礫を繁殖地とするコチドリやヨシ原を繁殖地とするオオヨシキリ等が息
- 千早川下流ではオオサンショウウオ、石川中流ではカシミサンショウウオを確認
- 中下流域では、コイやギンブナのほか、メダカやドジョウなどを確認
- 上流域ではアブラハヤやタカハヤを確認

河川の特徴

<下流域>

- 両岸にコンクリートブロックの護岸が整備され直線的な河道
- 井堰が多く湛水域となる区間が見られる
- 石川中下流の高水敷には石川河川公園が整備され地域の憩いの場として利用

<中流域>

- 住宅地と農地の間を緩やかに蛇行して流下
- 井堰が多く湛水域となる区間が見られる
- 部分的に形成された砂洲には植物が繁茂

<上流域>

- 山間部を蛇行しながら流下
- 樹林が川岸まで迫り、河川と一体となった良好な河川環境を形成
- 河道内に瀬や淵が見られる

平成24年12月4日(火)
大阪府河川整備審議会
第1回治水専門部会

参考
資料
5

河川利用と河川環境の現状と課題

- 石川上流に位置する滝畑ダムではかんがい用水を確保し、水道用水を取水
- 石川下流及び石見川中流において水道用水を取水
- 水系全体に井堰が多く、取水の影響により水量が乏しい区間が存在 ⇒ 井堰による瀬切れが発生
- 「大和川清流ルネッサンス」「Cプロジェクト計画」等の取り組みにより水質が改善 ⇒ 水系全体で環境基準を達成
- 市街化の進展に伴い流域内の農地が減少していることから、実態に即した取水量の把握と水利用が必要



数多くある井堰により瀬切れが発生

治水の現状と課題

- 石川では時間雨量50mm程度の降雨に対応した改修が概成
- しかし、時間雨量50mm程度を超える規模の降雨により床上浸水以上の大きな被害が発生する恐れがあるため、さらなる治水安全度の向上が必要
- 支川では時間雨量50mm程度の規模の降雨により浸水被害が発生する河川もあるため、治水安全度の向上が必要



川幅は約20m
沿川には住宅地と農地が広がる
河岸に樹林が迫る



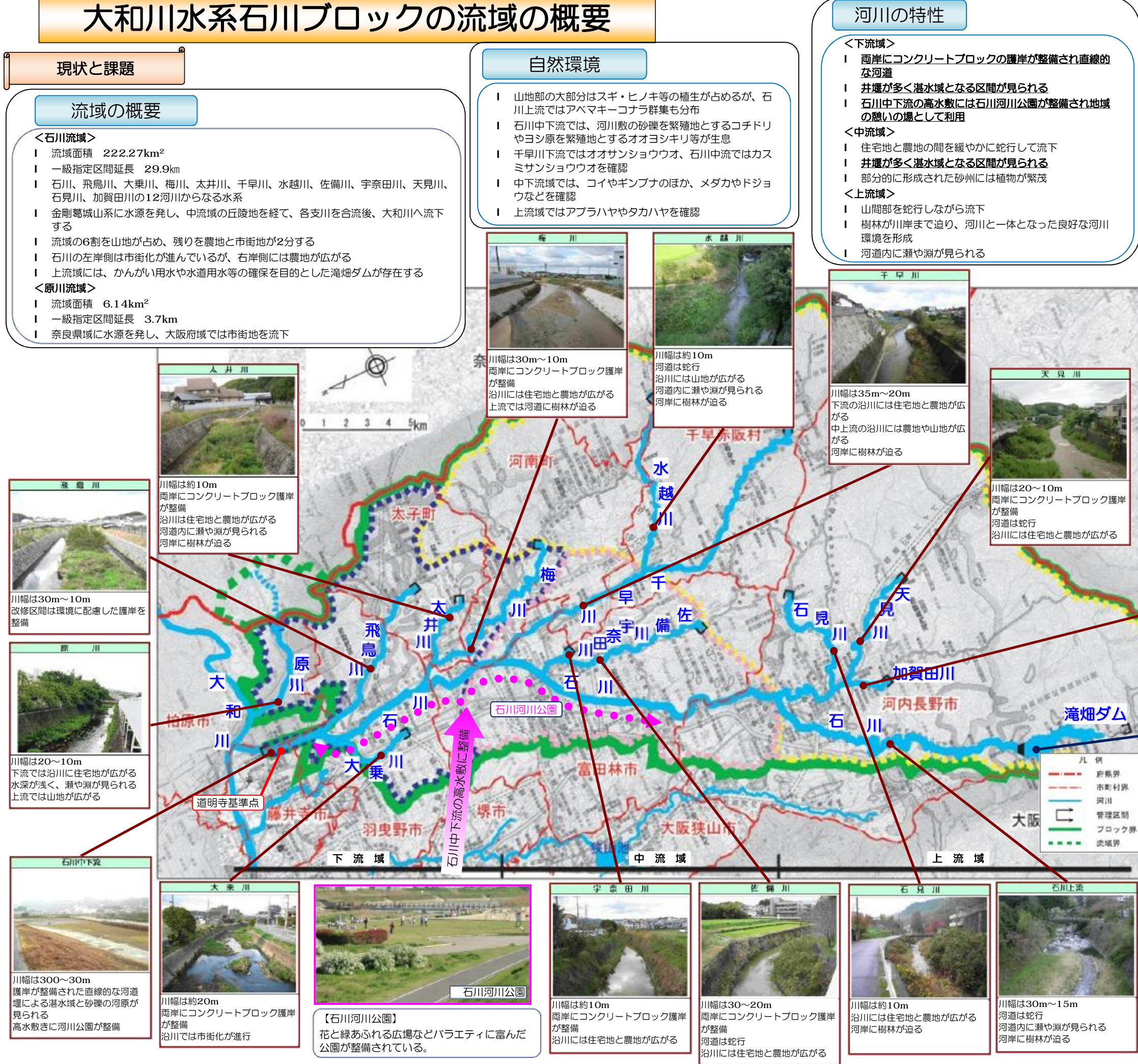
【滝畑ダム】
洪水調節・河川維持・水道・かんがいの機能を持った多目的ダム

空間利用

- 石川中下流域の高水敷等を利用した府営石川河川公園では、市民マラソン等の地域イベントの会場としての利用や広域避難地として活用
- アドプト・リバー・プログラムの認定団体は6団体
- 年一度、府民による一斉清掃「大和川・石川クリーン作戦」を実施
- 河川内の不法耕作地を府民協働で花畑にする「石川河川敷花いっぱい運動」を実施
- 滝畑ダム上流域では、野外活動施設などアメニティ空間として利用

アドプト・リバープログラム

番号	名称	河川名	実施場所	団体名
1	アドプト・リバー-佐備川	一級河川 佐備川	富田林市	富田林自然に親しむ会
2	アドプト・リバー-東町	一級河川 石川	河内長野市	河川を美しくする市民の会 河内長野市東町連合会
3	アドプト・リバー-国分西	一級河川 原川	柏原市	国分西町会
4	アドプト・リバー-番川	普通河川 番川	太子町	唐川ホテルを守る会
5	アドプト・リバー-高岡	一級河川 石川	河内長野市	高岡区自治連合会
6	アドプト・リバー-伏見堂	一級河川 石川	富田林市	伏見堂地域協力委員会



川幅は約10m
両岸にコンクリートブロック護岸が整備
沿川には住宅地と農地が広がる
河道内に瀬や淵が見られる
河岸に樹林が迫る



川幅は30m~10m
改修区間は環境に配慮した護岸を整備



川幅は20~10m
下流では沿川に住宅地が広がる
水深が浅く、瀬や淵が見られる
上流では山地が広がる



川幅は300~30m
護岸が整備された直線的な河道
堰による湛水域と砂礫の河原が見られる
高水敷きに河川公園が整備



川幅は約20m
両岸にコンクリートブロック護岸が整備
沿川では市街化が進行



【石川河川公園】
花と緑あふれる広場などバラエティに富んだ公園が整備されている。



川幅は約10m
両岸にコンクリートブロック護岸が整備
沿川には住宅地と農地が広がる



川幅は30~20m
両岸にコンクリートブロック護岸が整備
河道は蛇行
沿川には住宅地と農地が広がる



川幅は約10m
沿川には住宅地と農地が広がる
河岸に樹林が迫る



川幅は30m~15m
河道内に瀬や淵が見られる
河岸に樹林が迫る